

茨大『キャリア@通信』

茨城大学スチューデントサクセスセンター
vol.001



<Voice①> 『安心して相談できる人になりたいと思っています!』

損害保険ジャパン株式会社

後藤 真菜さん (2013年 人文学部卒)

<Voice②> 『仕事をしっかり働く中で「強み」になっていく!』

株式会社内田洋行 ITソリューションズ

村井 芳夫さん (2000年 理学部卒)

馬上 寛則さん (2001年 工学部卒)

<Voice③> 『笠間市の魅力は、「何ごとにもチャレンジ」!』

笠間市

三次 葉子さん (2018年 教育学部卒)

藤枝 知聡さん (2019年 人文学部卒)

●コラム『計画された偶発性理論』

～クランボルツ「5つの行動特性」～

●実際に見てみよう!

【企業訪問ツアー】

●information

●令和5年度茨城大学

『公務員・団体職員業務説明会』

仕事内容や機関の特色について理解を深めました

大学主催『合同企業説明会』企業184社が参加

『スチューデントサクセスセンター』になりたい自分になる



キャリア@通信 Voice①
安心して相談できる人になりたいと思っています!

損害保険ジャパン株式会社
 茨城支店 日立支社
 ことまな
後藤 真菜さん
 (2013年 人文学部卒)

代理店様のサポートをします。フラスアルファの情報提供を心がけて。

●現在どのようなお仕事をされていますか。
 日立支社の事務所で営業職として働いています。営業は直接お客様に向くことは少なく、その間に「代理店」様がいらっしゃいます。代理店様に弊社の保険商品の良さを知っていただき、お客様にご説明をしていただくサポートをしています。
 仕事で気をつけていることは、日々の代理店様との接し方です。ひとつのお返事をするときも、フラスアルファの情報提供をさせていただくことや、早く返答することを心がけています。
 ●コミュニケーションは緊張しませんか。
 初対面の方とは、何を話せばよいか、どうしようかと悩みます。私は人見知りなん



損害保険ジャパン茨城支店。私は水戸在住ですが茨城支店の日立支社勤務です。

です。まず、身だしなみに気を付けています。立ち振る舞いや言葉づかいも。相手も同じ気持ちかもしれません。その壁を、こちらから一歩進んで歩み寄りたと思っています。

この会社を選んだ理由は「人」です。大きな理由でした。

●学生の時、就職活動で、なぜ損保ジャパンを選んだのですか。
 私は就職活動で、広く金融業界を見てきました。銀行や証券会社の説明も聞きました。自己分析をした時に、自分の好きなことは「学んだこと、経験したことを、他の方にお伝えすること、その方に喜んでもらえること」と気づきました。そして保険業界であれば、自分が商品について学んだことをお客様にお伝えし、この情報提供で、役立てるのではないかと思います。
 もうひとつ、この会社を選んだ理由はシンプルに「人」です。何でしょう…波長が合うという気持ちです。大きな理由でした。
 ●代理店は、どのような方々ですか。
 車の保険であれば、車のディーラー様や整備工場様、保険販売の代理店様など幅広いです。数十年も保険を手掛ける店主の方や社長様もいらっしゃいます。私は「礼儀が一番大切」だと思っています。いただくご意見をもっと尊重させていただきつつ、私なりの意見を伝えることを意識しています。

お伝えした商品が「お客様の成約につながった」と聞くと、やはり嬉しいです。何ヶ月も熱心にご提案したものは、やっぱりやりがいを感じますね。

保険は「安心」と、新しいチャレンジを応援しています!

●保険は「安心」を売ると聞きましたが、どのような商品ですか。
 何か災害があったときに、保険のお支払いを役立てていただくことがあります。そ



いろいろな部門が水戸ビルの各フロアに入っています。

の意味で「安心」だと感じていただければ嬉しいです。また、お客様が何か新しい事業をスタートしたい時に、新事業に対する知識を集める支援をします。新事業のリスクをご説明して備えることで、保険の安心で、新しいチャレンジを応援できればと思います。

ワークライフバランスの制度が充実しています。

●社会人の生活について教えてください。
 学生の頃とは、やはり起きる期間と寝る時間が違いますね。私は寝るのが大好きなんです。週末は、美味しいものを食べて、たくさん寝ます。ワークライフバランスの制度も充実しています。育休明けの社員も多いです。会社は「健康経営優良法人ホワイト500」に認定されています。配偶者の転勤や親の介護を理由に異動希望できる環境もあります。



来年で入社12年目になります。代理店様のサポートが営業職の仕事です。

仕事は「人間力」で決まるものたくさんあります。

●どのような学生生活でしたか。
 マクロ経済を勉強していました。4年生で就職活動も終わった後、損保業界に関する

卒業論文を書きました。今思えば、時間があったので、これをやっておけば良かったと後悔していることがあります。パソコンの簡単なExcelやマイクロソフトofficeのツールです。仕事に直接は関わらないけれど、支える上で重要なツールだと感じています。パワーポイントも提案資料作成に使います。プレゼンテーションって大切です。

●保険の仕事は何が大切ですか。
 保険の仕事は、人間力で決まるものたくさんあります。例えば、自動車保険の自賠責は各社全く同じ商品です。任意保険は各社の特徴はありますが、お客様や代理店様に、何かお困りなのかを聴き、どうぞ説明するのか、人間が全てやっていることです。顧客満足度が大切な業界です。コミュニケーションが好きで、人が好きな方は、ぜひ保険業界を考えてみてください。生命保険はお客様の病歴を聴きます。自動車保険もお客様が週末にご家族とどう過ごされるのか車の使い方を伺います。信用できない人にプライベートは話したくありませんよね。安心して相談できる人になりたいと思っています。

●最近、台風や地震の災害も多いですが、損害保険も関係しますか。

大きな災害があった時は、現地に災害対策本部が設置されます。現地の社員が主に対応しますが、全国各地から応援社員が派遣されます。1日でも早くお客様に保険金をお届けします。対策本部は現地調査や書類の確認、電話連絡などチーム一丸となって対応します。



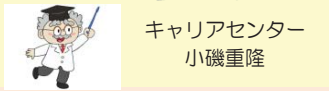
水戸駅から茨城大までのバス通りに、損保ジャパンのビルがあります。

学生時代の友達と、今もよく会っています。自分を知ること大切!

●茨大生の後輩に何かメッセージをお願いします。
 私は学生時代の友達と、今もよく会っています。卒業してからも「大切にできるような関係性」を持つことは、とても大事だと感じています。あともうひとつ、学生の時に自分を知ることだと思います。就活でも自己分析がありますよね。自分の好きなこと、嫌いなことを、仕事をしていく中で気づきます。学生の頃に気づけば、もっと成長できたと思っています。自分の軸になるものを見つけてください。

●本日は有り難うございました。
 取材・インタビュー
 伊藤遥香、久保木駿介

*****コラム*****

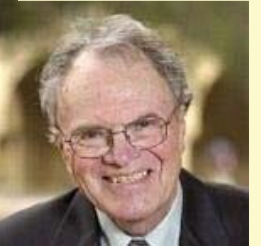


キャリアセンター
小磯重隆

**『計画された偶発性理論』
 ~クランボルツ「5つの行動特性」~**

このコラムではキャリア論のご紹介をしていきます。今回は、J.D.クランボルツの『計画された偶発性理論』を取り上げて考えてみます。

キャリア(人生)は、あらかじめ計画した通りや期待した通りには決してならないという現実があります。クランボルツは「将来の職業(仕事・職種)を決めること」を勧めません。もちろん「なりたい職業」を持っていてもよいのですが、それだけに固執すべきではないと述べています。ひとつの職種を目指すことや、特定の職業にこだわることは、「他の職業の選択肢を捨てている」ことになるからです。大切なことは、『行動すること』と『オープン・マインド』です。



John D. Krumboltz、教育心理学者。専門はキャリア論(1928-2019)

『行動すること』と『オープン・マインド』

キャリアの8割は予想しない偶発的なことによって決定される一面があります。その偶然を計画的に設計し、自分のキャリアをよいものにしていこうという考えです。偶然性の理論だから偶然に身を任せてばかりいるのではなく、行動することが大切です。そして、開かれた心で、何でも興味を持つこと。「これしかない」と決めつけるのではなく、色々なことに首をつっこんでみることで良い偶然に出会うのです。
 ●計画された偶発性は次の『5つの行動特性』を持っている人に起こりやすいと考えられます。「偶発性理論」は、その偶然を計画的に設計します。それは5つの行動特性です。キャリアを計画する(決めつける)のではなく、偶然を計画します。

<5つの行動特性>

- 1) 好奇心 (Curiosity)
 自分の知らない世界に視野を広げ、さまざまなことに興味を持つ。
- 2) 持続性 (Persistence)
 相応の努力や粘りが必要。すぐに結果を求めず、足元を固める。
- 3) 柔軟性 (Flexibility)
 こたわりを捨て「なんでも来い!」の気持ちが大切。
- 4) 楽観性 (Optimism)
 知らない世界に飛び込むチャンスだと楽観的にとらえる。
- 5) 冒険心 (Risk Taking)
 つらい事や苦しいこともある。そのリスクも引き受ける気持ち。

キャリア@通信 Voice②
仕事をしっかり働く中で
「強み」になっていく!



地域事業本部 関東支店 システム部
もうえ ひろのり
馬上 寛則さん (2001年 工学部卒)

株式会社内田洋行 ITソリューションズ
地域事業本部 関東支店 システム部
むらい よしお
村井 芳夫さん (2000年 理学部卒)

お客様が困っていることを解決する！ニーズを聴くことが大切です。

●現在どのようなお仕事をされていますか。
馬上：私たちの会社は独立系 Sier (System Integrator) です。お客様のニーズに合わせてソフトウェアやハードウェア、ネットワークなどのシステムを一体的に設計し、開発、導入、管理までを行います。システム



お客様との絆も深まって働ける経験は、苦労もありますが「私の財産です」。

部では、お客様が困っていることを解決するために経営層や現場担当と打合せを重ね、最適なシステムの提供を行っています。また、当社で扱っている主力商品がお客様に上手く合う場合もあれば、新しく1からオリジナルのシステムやプログラムなどを作る場合もあります。例えば、インボイス制度導入(法改正)などは新たなプログラムを作成することになります。

村井：システムで扱う作業として例えば在庫管理です。大きな倉庫で実際に在庫を見て確認することは大変です。これがシステムを導入することでコンピューター上の商品別在庫を確認できると助かる訳ですね。また、システムエンジニアの仕事はお客様のお話を聴いて設計することがメインになります。少なくとも3人、平均的には7~8人のチームで仕事をしています。

●理系出身の方が多いいですか。
村井：文系の方も多くいます。文系理系は気にしないで良いと思います。お客様のニーズを聴くこと、課題解決実現のシステムやプログラム設計、開発などを行う仕事が好きかどうか、これが大切です。
馬上：私は卒業論文で、仮説を立ててみて、実験をして、結果を出すような過程をやっていました。文系も同じだと思います。文章を組み立てる「起承転結」や展開です。システム部では文系と理系で良いチームになっています。

仕事をしっかり働く中で「強み」になっていくのだと思います。

●仕事の中で1番印象に残っていることは何でしょうか。失敗や成功はどうですか。
馬上：上手くいった仕事はあまり印象に残らなくて、トラブルが思い出深いですね。苦

労した仕事は、お客様との絆も深まって「この会社に頼んで良かった」と言っていた日は嬉しかったです。

●親会社の内田洋行は教育分野が有名です。貴社の得意な分野は何でしょうか。
村井：地域ごとに異なりますが、例えば、食品業界や建設業界の仕事も多いです。食品業界も流通や製造など範囲が広いです。
馬上：得意と言うより、ご依頼を頂いた仕事をしっかり働く中で、強みになっていったのだと思います。横のつながりも増えます。食品業界から化粧品業界、物流や多くの業種展開です。



水戸城三の丸跡に近いビル7階に内田洋行 ITソリューションズがあります。

村井：関東支店は大宮・宇都宮・千葉・水戸の4拠点から、それぞれの地域で貢献している企業(お客様)に寄り添い、経営課題をITで解決する仕事をしています。

馬上：地域事業本部では、北海道・青森・仙台・新潟・松本などと毎月1回顔を合わせて仕事をしています。

学生の頃と比べ、社会人は時間の流れ、時間の使い方が違います。

●学生の時は何をやっていましたか
村井：理学部にちょうどパソコン室ができた時代です。興味を持ってホームページを作ったりしていました。音楽コンサートを誘致するプロデュース研究会の活動もしました。茨苑祭実行委員会と協力していました。女優の松雪泰子さん呼びましたよ。
馬上：私はクラシックギターをやっていました。サークル棟に部屋がありました。ジャズ研やファミレドなど他サークルの友人もできて一緒にバンドを組みました(Oasis等を演奏しました)。

●社会人生活はどうですか。
馬上：学生の時は、時間の流れや時間の使い方が違いますね。今は9時に出社して17時半に終わる規則正しい身体になりました。
村井：そうですね。寝坊して遅刻は無いです。お客様との打ち合わせも「準備をする」が大切です。社会人になって、約束の日までにやることを強く意識しています。

ITは益々進みます！が、お客様と顔を合わせた仕事です。

●AIやDXなど、IT業界の発展はこれからどうなっていますか。

村井：ITは益々幅広く進化して行くと思いますが、私たちが「お客様のやりたいことをお手伝いしていく」ことに変わりはありません。お客様の要望を聴いて、それをシステム化する仕事はなかなか自動化が難しく、お客様と顔を合わせて行う仕事です。

管理職は、チームをまとめるコミュニケーションが大切です。

●お二人は管理職として、どのように働いておられますか。



お客様の要望を聴く仕事は自動化が難しく、1つ1つ確認して行くことが大切。

馬上：チームをまとめるコミュニケーションでは苦労もあります。仕事の指示も「伝え方」で、人によって受け取り方が異なります。
村井：個性や性格、家庭環境も違いますね。その人に合わせて接するように心がけています。

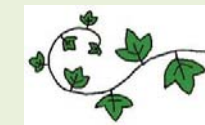
●女性の管理職はいますか。

馬上：もちろんおります。性別にかかわらず、管理職を目指す人も、専門分野で特化して働く人も、いろいろです。入社1年目、2年目は幅広い分野で経験してもらいたいと考えています。その中で、自分が向いているキャリアパスを探してもらおうと良いです。
村井：性別にかかわらず、育休制度を取得して活躍する社員も多いです。

自分で決断して進む！多様な経験が力になると感じます。

●茨大生の後輩に何かメッセージをお願いします。
馬上：自分でやりたいと思ったことや、興味を持ったことに「自分で決断して進む」と良いと思います。臆せず行く、チャンスと捉えていろいろ経験してください。
村井：楽しそうだと思う仕事を選ぶことは大切だと思います。いろいろ見て考えてみてください。アルバイト経験も「もっと知ること」ができたのに、と後から思います。お客様をサポートする仕事に就いて、多様な経験が力になると感じています。

●本日は有り難うございました。
取材・インタビュー
白田真穂、吉村風騎



企業訪問ツアー
実際に見てみよう!



水戸近郊の企業を訪問するツアーが1月に開催されました。少人数の参加でしたが、企業からゆっくり丁寧な説明をしていただきました。茨大卒業生の先輩方も参加していただき、お茶を飲みながら「どのように働いているか」の話を伺いました。卒業後のイメージを膨らませました。

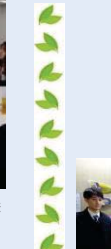
1社目は、損害保険ジャパン株式会社(保険業界)、2社目は、株式会社ユードム(情報業界)。どちらも水戸市内の事業所を訪問しました。働きやすい会社だと感じました。



損害保険業界の説明を受けました。社員の方々が働く職場を実際に見学しました。



茨大OGの2人を交えて、楽しいお話を伺いました。

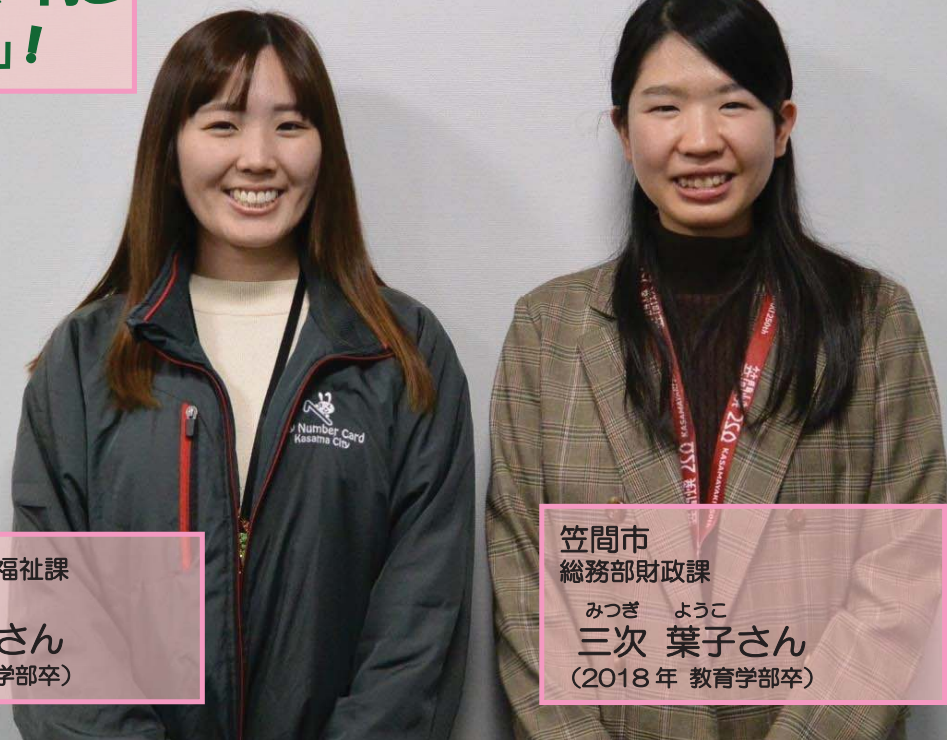


IT業界って何? 概要説明の後、実際のシステム開発オフィスを見学しました。



水戸駅南の自社ビルを見上げて。水戸市民会館にも「ユードムホール」の名前があります。

キャリア@通信 Voice③
笠間市の魅力は、「何ごとにもチャレンジ」!



保健福祉部社会福祉課
 ふじえだ ちさと
藤枝 知聡さん
 (2019年 人文学部卒)

笠間市
 総務部財政課
 みつぎ ようこ
三次 葉子さん
 (2018年 教育学部卒)

職場の人とチームで働きます。地元のために働きたい!

●現在どのようなお仕事をされていますか。
 三次: 笠間市役所で働いています。入庁から5年目までは商工課で地域産業活性化や中小企業のサポートをしていました。今年度から財政課で市の予算を担当しています。4月からの予算をようやく固めて記者発表を終えました。市財政について無駄なくお金を使うことがとても大切です。職場の人とチームで働きます。



常磐線友部駅近くの笠間市役所(本所)。約7万1千人が暮らしています。

藤枝: 私は5年間、社会福祉課にいます。障害者手帳の申請受付や審査、手当支給などの業務があります。地域生活支援事業では障がいを持った方の運動会や音楽祭も行っています。

●お二人とも笠間市のご出身なのですか。

藤枝: 私の地元は筑西市です。「笠間っていいな」と思って笠間市役所に決めました。三次: 私は笠間市の出身です。大学も茨大からずっと地元ですね。教育学部で教育実習もしました。もちろん先生も良い仕事なので迷っていません。教育支援ボランティアも経験し、教育現場では解決できない課題を行政の立場で解決したい思いから公務員を目指しました。地元のために働きたいと思いました。藤枝: 民間企業も受けました。関東圏のいろいろな企業の面接を受けました。何社かの内定も頂きましたが、古いアルバムを見る機会があり、自分に宛てた手紙に「障がいのある人を助けたい」と書いたことを思い出しました。小さい頃の思いが今の仕事につながりました。

プロフェッショナルな気持ちで働く仕事だと感じています。

●学生の時の公務員のイメージと、実際に働いた実感で違いはありますか。
 三次: 昔も今も、大変なお仕事だとすごく感じています。いろいろな分野があって、福祉や財政、生活インフラなど多くの仕事があります。藤枝: プロフェッショナルな気持ちで働く仕事だと感じています。配属されたはじめは分からないこともありましたが、窓口に

来た方にはしっかり対応しなければなりません。知識も気持ちも大切です。●働きやすい職場なのですか。
 藤枝: 昔は、市役所はお堅い人が多いのかなと思っていました。意外とフレンドリーな職員さんが多いです。働きやすい環境だと感じています。



職場で協力しながら仕事をしています。チームプレーが大切です。

三次: 仕事と自分の生活が、とてもバランス良く過ごせています。ノー残業デーや休暇制度など、市が働きやすい環境づくりを考えてってくれています。

笠間市の魅力は「チャレンジする」ことだと思います。

●笠間市の「魅力」って何でしょう。
 三次: 笠間市の魅力はたくさんあります。笠

間と言ったら「笠間焼」。「栗」も有名ですね。でも就職して思ったことは「何ごとにもチャレンジする」魅力です。商工課の仕事では1年目からどんどんアイデアを出すように言われました。積極的にチャレンジしていこう! って。他の自治体がやっていないことに挑戦しています。藤枝: 私はすごく魅力的な街だと思っています。学生時代に留学生に向けて笠間ツアーを企画したことがあります。外国の方にも楽しんでもらえる資源が多いです。

面接は、はじめ、ガチガチで緊張してしまいますね。

●公務員試験の勉強は大変だと聞きます。どのように準備されたのですか。
 三次: 進路を教員か公務員かギリギリまで悩んでいたで、試験の準備は他の人より遅かったと思います。3年生後半から遅かった分、集中して一生懸命でした。藤枝: 3年生に入ってから生協さんの公務

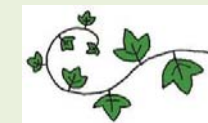


総合的に応えられる職員になりたいです。知識も気持ちも大切だと思います。

員講座を受講しました。民間企業も視野に入れていたので試験準備は少し疎かだったかもしれません。民間企業の筆記試験SPI等と被る部分もありました。面接は民間企業の就職活動で何回か経験したので不安はありませんでした。面接って、はじめはガチガチで緊張してしまいますよね。

市役所は「市民の方々と近い距離」のお仕事だと思います。

●市には「いろいろな仕事」と聞きましたが、例えば、どのような仕事ですか。
 三次: 公園や道路や住宅などまちづくりもあります。農業や商工の産業もあります。例えば、計量法という法律があって、分量が正しく管理されているか確認する仕事もあります。スーパーマーケットに行くと「50gと書いてある物がきちんと50gなのか」、その秤が正しく計測できているかを調べます。社会の安定につながる仕事なんです。三次: 笠間市の特産に稲田石があります。掘るために爆発物を使うので、ダイナマイトの保管を現場確認にも行きます。作業服とヘルメットですね。藤枝: 市役所は、市民の方々と近い距離にあります。県に情報を伝える仕事も重要です。近隣の市町村や県とも連携します。県とは補助金の申請関係等で携わる機会が多いです。



やりたいことは積極的に「挑戦」! 「大学時代楽しかったね」。

●茨大生の後輩に何かメッセージをお願いします。
 三次: 学生時代4年間の経験はとても大切なものだったと働いてから実感しています。あれもやっておけばよかった...と。やりたい事は積極的に「挑戦」して欲しいです。失敗しても自分の中で大きな経験になります。藤枝: 大学時代の友人に会うと、やっぱり「大学時代楽しかったね」と話題が尽きません。4年間は大切な時間になります。勉強も遊びもいろいろな活動も、大学でしかできない経験が社会人になって生きてきます。友達もたくさんつくってください。



笠間市の地図。市民生活、まちづくり、子育て、教育、スポーツ、産業観光、文化などいろいろな仕事があります。

●本日は有り難うございました。
 取材・インタビュー
 白田真穂、田上祐太郎

**令和5年度茨城大学
 公務員・団体職員業務説明会**

2024年2月22日水戸キャンパス図書館1階共同学習エリアにて、公務員・団体職員の業務説明会が開催されました。職員の方の生の声を聞くことで、仕事の内容や機関の特色について理解を深める機会になりました。114名の学生が参加しました。

- 参加機関
- 厚生労働省茨城労働局
 - 水戸地方・家庭裁判所
 - 茨城県庁
 - 水戸市役所
 - 笠間市役所
 - 土浦市役所
 - つくば市役所
 - 土浦市消防本部
 - 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構(JAEA)



↑
 横浜税関の説明。国家公務員の仕事を考えます。

- 参加機関
- 関東経済産業局
 - 横浜税関
 - 国土交通省国土地理院
 - 茨城県警察
 - 日立市役所
 - ひたちなか市役所
 - 特別区(東京23区)
 - 関東甲信越地区 国立大学法人等グループ



会場の空気感も大切。対面形式で少し緊張。



水戸市の説明。地方公務員の仕事を考えます。

Information



大学主催『合同企業説明会』

茨城大学主催「合同企業説明会」が3/1~3に開催されました。茨大生を採用したい！企業184社にご参加いただきました。オンライン開催で3キャンパス延べ1105名（3日間合計）の学生が参加しました。人事担当者の話を聞いて考え、就活がスタートします！



『スチューデントサクセスセンター』



2024年4月、学生窓口が新しくなりました。“学生サクセス”「学生の自己実現(なりたい自分になる)」を支援する“スチューデントサクセスセンター(SSC)”がスタートしました。キャリアセンター・キャリアサポート室は皆さんの就職活動を支援しています。



共通教育棟1階 キャリアセンター入口



編集後記



茨大『キャリア@通信』の読者は学生です。社会で活躍している茨大卒業生のお話を聞くことで職業観やキャリア意識を培ってください。大学教職員のほか、皆さんを多くの先輩達がサポートしてくれます。皆さんの自己実現(なりたい自分になる)を Student Success Center は“One-stop”、“One-on-one”で支援しています。



伊藤 遥香 (人文社会科学部 1年)
様々なお話を聞くことができ、自分の将来像を見つめ直す機会になったと感じました。



吉村 風騎 (工学部 1年)
実際に働く先輩方の話を聞いて、刺激を受けました。今後の学校生活に活かしたいです。

表紙の写真

茨城大学体育会弓道部 昭和28年度に創部した歴史ある部活動です。約50名が所属。朝の練習前に撮影をしました。



久保木 駿介 (理学部 1年)
社会で働く上で大切な仕事への向き合い方や人との付き合い方など貴重なお話を聞く機会になりました。



白田 真穂 (人文社会科学部 1年)
働いている茨大OBの方々のお話を聞いて、今後の進路を考える、とても良いきっかけとなりました。



田上 祐太郎 (工学部 1年)
茨大を卒業された先輩方からお話を伺い、将来のビジョンを考えるきっかけとなりました。

茨大「キャリア@通信」vol.001 2024年4月11日

編集・発行//茨城大学キャリアセンター
取材学生スタッフ//伊藤遥香、久保木駿介、田上祐太郎
吉村風騎、白田真穂(学年は取材時)
撮影//茨城大学キャリアセンター
取材//2024年2月

